



| | |
|------------------|---|
| Title | 研究室報 |
| Citation | 独語独文学科研究年報, 22, 83-85 |
| Issue Date | 1996-01 |
| Doc URL | https://hdl.handle.net/2115/26025 |
| Type | other |
| File Information | 22_P83-85.pdf |



研究室報

講義題目(1995年度)

| | |
|--|-----------------|
| 独語学概論 | 植木迪子・清水 誠 |
| 独文学史概説 | 石原次郎 |
| 独語学 Landeskunde | 植木迪子 |
| 独語学 ドイツ語と北欧語 | 清水 誠 |
| 独語学 生成文法理論から見たドイツ語の構造 | 保坂泰人 |
| 独語学 Fakten über Deutschland | Franz Schneider |
| 独語学 Von Sprachstrukturen zur Kommunikation | Franz Schneider |
| 独文学 Spielerische Rhetorik | Michael Haas |
| 独文学 Schreiben und Textproduktion (2) | Sigrid Holzer |
| 独文学 テクスト読解の基礎 | 石原次郎 |
| 独文学 作家の文学論 | 山田貞三 |
| 独文学 R. ムージル研究 | 赤司英一郎 |
| 独語学演習 独語学の基本 | 植木迪子 |
| 独語学演習 Textgrammatik | 植木迪子 |
| 独語学演習 西ゲルマン語演習 (2) | 清水 誠 |
| 独語学演習 オランダ語学 (2) | 清水 誠 |
| 独語学演習 ドイツ語史の諸相 | 清水 誠 |
| 独語学演習 ドイツ語歴史統語論 | 清水 誠 |
| 独語学演習 Grundprobleme der Linguistik | Franz Schneider |
| 独文学演習 20世紀ドイツの芸術批評 | 西村龍一 |
| 独文学演習 現代文学の諸相 | 山田貞三 |
| 独文学演習 ARS POETICA | 山田貞三 |
| 独文学演習 文学の情報特性 | 石原次郎 |
| 独文学演習 文学の社会理論 | 石原次郎 |

研究室行事記録

◎1995年2月18日に北海道大学文学部301号室において1994年度卒業論文・修士論文発表会が開かれた。

◎1995年には、文学部では下記の研究会がもたれた。

- 3月13日 萩原 達夫 : Zur *es gibt*-Konstruktion
- 6月14日 萩原 達夫 : Zur (In)akzeptabilität des Satzes : ?/??/ *Was glaubst du, *daß Peter gekauft hat?*
- 10月7日 白渕 幸子 : Sie sind …/du bist … という表現について

〈留学関係〉

◎1995年8月に田野中純子氏がミュンヘン大学から留学を終え帰国した。

◎1995年8月に林 馨子氏がミュンヘン大学へ留学のため出発した。

☆1995年6月10日に年報の総会が行われ、会長選出、幹事選出、入会報告等が行われた。

1994年 度 論 文 題 目

卒業論文

小笠原直子：カロッサは戦争を讃えたのか？—詩“Geheimnisse”—

津田千佳司：文学テクストと受容者の関係—ロベルト・ムージル『三人の女』を例に

三谷 愛：Patrick Süskind—“Die Geschichte von Herrn Sommer”と“Die Taube”について

宮本 哲也：〈不条理〉の妥当性—ヴォルフガング・ヒルデスハイマー『遅れ』について—

森 真一：“Dichterliebe”にみられる韻律の研究

修士論文

白瀬 幸子：Zur Extraktion aus daß- Sätzen

北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
 2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
 3. 本会は上の目的達成のため、下記の事業を行なう。
 - 1) 機関紙「独語独文学科研究年報」を毎年1回発行する。
 - 2) 合評会、研究会、講演会等を隨時行なう。
 4. 本会員は北海道大学文学部独語・独文学研究室の教官・院生（学生も含む）ならびにその趣旨に賛同するものによって構成される。
本会員は上の活動の遂行のため所定の会費を支払う。
- 本会は1名の会長と若干名の幹事をおく。幹事は会計および編集委員を兼任する。
- 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日をもって終わる。
- 本会の事務所は北海道大学文学部独語独文学研究室におく。
- 本会に賛助会員をおく。

会員名簿

| | | | |
|-------|-------|------|-------|
| ※青柳謙二 | 石川克知 | 石橋道大 | 石原次郎 |
| 伊藤祐紀子 | 岩井洋 | 岩田聰 | ◎植木迪子 |
| ○臼渕幸子 | 梅津真 | 江口豊 | 岡田麻子 |
| 小川了 | ○荻原達夫 | 小澤幸夫 | 加藤寛蔵 |
| 川島淳夫 | 川東雅樹 | 岸川良藏 | 佐藤修子 |
| 佐藤俊一 | 塩谷幸子 | ※塩谷饒 | 清水誠 |
| 神久聰 | 鈴木将史 | 高橋修 | 高橋吉文 |
| 田中智美 | 田中慎 | 田中剛 | 田野中純子 |
| 対馬晃 | 寺田達男 | 中川勝昭 | 中称勝美 |
| 名執基樹 | 西川智之 | 林馨子 | 藤本純子 |
| 前原真吾 | 三浦國泰 | 最上英明 | 森田一平 |
| 山田恵子 | 山田貞三 | 山田善久 | |

◎は会長 ○は幹事 ※は賛助会員

独語独文学科研究年報 第22号

1996年1月発行

発行者 北海道大学ドイツ語学・文学研究会
編集委員 臼渕幸子 荻原達夫
連絡先 北海道大学文学部独語独文学科研究室内
060 札幌市北区北10条西7丁目
印刷所 北大印刷
